

2023年11月12日開催  
DREAM AS ONE. × みんなでチャレンジアカデミー-SPECIAL FES.

代々木公園陸上競技場 (参加親子：677名)



開催会場は今年も代々木公園陸上競技場。朝から小雨が降る天候でしたが9時20分に受付が始まると参加案内状を手に傘を差して親子が続々と来場。小雨の中での開会式となりました。司会進行はスポーツ実況でお馴染みのTBS石井大裕アナウンサー。そして今年もシスタントには大学時代陸上6種競技の選手だった宇佐美菜穂さん。石井アナの軽快元気な司会で始めると会場が一気に明るくなりました。そして、アスリート達が登場し、為末大さんの号令で参加者、アスリート全員で準備運動開始です。



程よく体も温まった後、いよいよ、各種体験指導開始です。5種類の競技を各自思い思いに体験します。かけっこ指導は、女子100mハードル選手でママさんアスリートの寺田明日香さん。ご家庭では小学3年生のお母さんだけあり、子ども達の指導はお手のものです。京都教育大学4年生で昨今絶好調の陸上短距離パラアスリート三本木優也さんが寺田さんの指導助手を務めました。



走り幅跳び指導は、キングオブ陸上と称される陸上十種競技でアジア大会2大会連続金メダリストの右代啓祐選手。実技披露で身長196cmの大きな体が宙に舞うと迫力満点です。優しい右代選手は子ども達にも毎回大人気。体験後、子ども達は参加パスポートにスタンプを押して感想を記入します。



走り高跳び指導は、日本記録保持者の戸邊直人選手。196 cmのすらりとした長身の戸邊選手が華麗に舞うように高いバーを跳ぶ姿はさすが日本記録ホルダーです。そして、本格的な走り高跳びのバーを跳ぶ体験に子ども達は大喜びでした。



車いすラグビーは毎回大人気の体験コーナー。今回は日本代表4選手による豪華な指導陣です。ルールを学び、体験後は5対5のチームに分け実践。ゲーム対戦はひとときわ盛り上がります。また、車いすラグビーの醍醐味であるラグ車タックルは迫力満点。ここでも歓声が沸き起こっていました。



義足体験指導は、日本の義足短距離選手第一人者に成長された佐藤圭太選手。中学3年生の時に骨肉腫で足を切断したお話に皆さん真剣なまなざしで耳を傾けていました。初めて義足を試みる参加者は、装着後、恐々とその感触を体験していました。



交流ミニゲームは、子ども達が赤、青、緑、ピンク、黄、オレンジの6チームに分かれて、シッティング玉入れとユニバーサルリレーで競います。抽選箱に入った6色のくじを6人のアスリートが順番に引き、チームカラーが決まります。



みんな大好き玉入れは、自然と会場内に歓声が響き渡ります。保護者の皆さんはスマホ片手にわが子の撮影に大忙しです。2回戦勝負で戸邊選手率いるピンク組の勝利となりました。



ユニバーサルリレーは2回戦勝負。トラック1周50m×8区分を車いす、二人三脚、三人四脚、かけっこの順にバトンを繋ぎます。学齢の違う子ども達がチームワーク良く笑顔で走る姿が印象的でした。



リレーアンカーはアスリートリーダーの出番です。子ども達の大声援を受けてアスリート達が必死の表情で走る姿に会場は笑いで包まれました。



今年は朝から小雨の降る中での開催でしたが、何とか午後には晴れ間ものぞき、開催を終えました。今年もたくさんの親子の笑顔であふれた1日となりました。大会アンバサダーの為末さん、指導してくれた右代啓祐選手、寺田明日香選手、戸邊直人選手、佐藤圭太選手、今井友明選手、三本木優也選手そして、雨の中ご参加いただきました参加者の皆さん、ありがとうございました。

